

深セン行きの関連情報置き場

by akita11 (update: 251005)

持ち物(一般的な情報)

基本的に、日本で買える日用品はだいたい現地で買えるので、無理に持っていく必要はないですが、薬や日用品で好みがある人は持っていったほうがいいでしょう。

忘れちゃだめゼッタイ

- パスポート
- スマホ(SIMロック解除されているか確認し、していなければしておく)
- 通信環境(SIM・VPN)(後述)
- 海外で使えるクレジットカード
 - できればバックアップの意味で複数持っていくと安心
 - 海外利用が制限されている契約のものもあるので、海外でつかえるかは事前に確認して、必要であれば制限を解除しておく(家族カードでは制限がある場合が多い。解除に2週間程度時間がかかることもあるので早めにやっておく)
 - 支払時の二段階認証を設定している場合は、SMSではなくメールや認証アプリなど、「日本の電話番号が使えない現地でも使える」設定にしておく。
 - VISAかMasterが安心だがJCBでもたぶん大丈夫。
 - カード利用上限額が十分あるか(または一時的に制限を解除できるならしておくか、少なくとも解除の方法は調べておく)
 - まだクレジットカードを持っていないなら、親御さんの親子カード(海外利用制限に注意)、またはRevolut (<https://www.revolut.com/ja-JP/>)やWise (<https://wise.com/jp/card/>)などのバーチャルカードをつくっておく(アカウントをつくり、親御さんや自分のカードや銀行送金でチャージし、その分だけ使えるプリペイド式のクレジットカード。使い捨てにもできるのでセキュリティ的に安心)
- 常用薬などの現地で入手できなくて日本から持っていけないと困る薬など
- 航空券の予約情報(念のためeTicket控えなどを印刷しておく)と安心だが必須ではない
- 現地で使うアプリ(後述:アカウント設定などを出発前にしておく)

用意しておいたほうがいいけど、現地でも買えるもの

- 充電器(スマホ・PC等): 中国は電圧が220Vなので220Vでも使えるもの。
- モバイルバッテリー: スマホを使う機会が多くバッテリー減りがち
- コンセントの変換プラグ: 日本(A型)が使える場所も多いので、なくても大丈夫なことが多いが、C型への変換プラグを用意しておく(ダイソーとかでも売っている)。中国のちなみにほとんどのホテルは変換プラグなしで挿せる口が複数あります。香港で滞在する場合は、香港のBF型の変換プラグはほぼ必須(深センでも買える)
- タオル、ハンカチ、服(Tシャツや襟つき半袖で十分): 暑いので夏の衣装。帽子もおすすめ。着替えの数は洗濯の頻度とのご相談。
- 傘(スコールが多い&日傘としても使えるので、大きめの折りたたみの傘はおすすめ)
- 整腸剤、風邪薬などの薬局でも売っている一般薬、歯ブラシなど。現地でも買えるので心配なら。

あとはお好みで

- お金(現地ですぐに使えるように1万円くらいは持っていったほうが安心だが、出発空港・到着空港で日本円から両替できるので、事前に人民元を両替していなくても大丈夫。現金が必要になる場面はほとんどないが、必要になったらクレジットカードからの海外キャッシングや海外ATMを適宜利用するのがよい
- ポケットークなどの翻訳機(スマホの翻訳アプリでも十分だと思います)
- ふりかけ、味噌汁などの日本食(まあ現地でも売ってます)

SIM・VPN(ネットワーク関連)

必要な条件

- (必須)中国国内(深セン)で携帯が通信できること
- (優先度高)Google等のサービスを利用するためにVPNを契約する(後述)
- (優先度高)中国携帯番号でSMS受信ができること(現地サービスアカウント作成で中国携帯番号しか使えないものがある。
- (オプション)日本のいまの携帯番号で通話・通信・SMS受信ができること(非常時の生命線)

おすすめプラン

- 「チョコSIM」を契約するのがベスト(中国携帯番号でSMSを受信できる。月額500円ぐらいで、ちょくちょく現地に行くなら番号の維持費も安い)。現地に入ってから通信パケット量を課金して追加できる。とりあえずは「Sチョコプラン」(498円/月)でOK。eSIMを使えるスマホならeSIMのほうが便利。開通前に本人確認手続きが必要なのでやっておく。
 - (※電話番号が使い回されて制限があるばあいがあるので非推奨)AmazonでプリペイドSIMを買うこともできるが、「電話番号付き(SMS受信できるもの)」を選ぶこと。
<https://www.cunig.jp/home>
- (オプション)短期間だが香港にも滞在する場合は、香港で使えるものを用意しておく
 - 今使っている携帯キャリアの海外ローミングが使えるならそれでもよい(ちなみに楽天モバイルは香港でも使えて、日本での通信パケット量を流用できる)
 - 例えば月額無料のpovo(課金すればパケット量を増やせる)やAmazonで買えるプリペイドSIMを購入しておく心安心

VPN

- どんなもの?→仮想的に中国国外との通信路をつくるスマホやPCのアプリ。
- なぜこれが必要?→中国では、俗に「金盾(Great Firewall)」と呼ばれるインターネット規制があり、Google、Twitter、LINE等が利用できないため、それらを使う場合に必要。なお香港SIMなどではVPNなしでこれらが使えるが、PCでこれらを使うことになるので、VPNは契約しておいて損はないと思う。
- 料金は?→サービスもいろいろありますが、個人的なオススメは1coinVPN (<https://1coin.best/>)で、月500円くらい。
- 使い方は?→1coin VPNの説明などを参照。
- いつ契約する?→アカウントは事前につくっておき、渡航当日に30日分を支払うのがよい(あまり早くに契約すると使わなくて無駄になる期間があるため)

- スマホとPCの両方にアプリを入れて使えるようにしておく。
- ※アカウント登録に使うメールアドレスはGmail(やそれに転送しているアドレス)はNG(安全のため制限している)のことが多いので、それ以外のメールアドレスを使う(特に1coinVPNの場合)。

アプリのアカウント作成・設定等

- チョコSIMを開通させてから、アカウントの登録電話番号をチョコSIMの番号に変更(必要ならば本人確認手続き)する。チョコSIM開通後にアカウントをチョコSIM電話番号でつくるのもよい。

WeChatPay / AliPay

現地での支払いはこのどちらかが必須と考えたほうがいい。事前にやるべきことは以下の3つ。現地入りするまえにやっておく。

- AliPayアプリのインストールとログイン(携帯番号)(AliPayHKではなくAliPay)(※香港では使えない)
- クレジットカード(WeChatPay/AliPayでの支払いごとにこのカードから支払い)の登録(※持ち物情報のクレジットカードの項を参照)
 - Alipay: アカウント→右上の歯車から:(1)Paymentで支払いパスワード設定、(2)BankCardでクレジットカード登録
 - WeChatPay: 下記参照(支払いパスワード設定も)
- AlipayとWeChatでの本人確認(名前がローマ字表記になっているのを確認後(漢字はだめ)、本人確認(実名認証))
 - Alipay: アカウント→右上の歯車からAccount&Security(アカウントとセキュリティ)→IdentifyInformation(身分情報)で本人確認(パスポート情報の入力(写真も?)→トップから「受け取る」で受取用QRコードが表示されればOK。それに加えて、MyPage→設定→アカウントとセキュリティ、から、未実施マークがついているところ(本人情報の住所、身分(=学生)など)を埋めて、未実施マークがないようにする。
 - Alipayの「トランスポート(交通)(またはモビリティ)」から(必要ならば本人確認などをすませて)「深セン通」(Suica的なやつ)を開通させ、QRコードが表示されるようにしておく
 - WeChatPay: 下記参照(WeChatアプリの一番下の「自分」→「サービス」→「マネー」でReceive Moneyから本人確認を求められるので、パスポートと顔写真のアップロード(確認が済むまで1日くらいかかるかも)→受取用QRコードが表示されればOK。
- 参考情報:
 - WeChatPay
 - <https://szu-tokyo.jp/2024/02/19/20240219wechatpay/>
 - <https://mp.weixin.qq.com/s/Rm7rQBotG77SQmM6MMv75A>
 - Alipay
 - https://k-wifi.com/china/c_value/china-alipay-apps/
 - 登録したクレジットカードからの支払いは、お店で支払い用QRをスキャンしてもらう場合、お店(法人)QRコードをスキャンして支払う場合のみOK。以下の場合NG: 個人への送金、お店(実は個人)QRコードをスキャンしての支払い(※法人の場合と区別がつかないので注意)

現地で使うアプリ

少なくとも以下のものはインストールしておく

- WeChat(現地の人との連絡などで必須)、Alipay
- 高德地図
 - 現地についてから、深セン市のオフラインデータ(离线地图)をダウンロードしておく、出先で通信量を節約できる。
- 中国語入力(iPhoneだとFlickというアプリなど)。手書き入力も入れておくとい。特に高德地図での地名入力には必要。
- 美团(meituan) 黄色いアイコンのアプリ。ごはん宅配(外卖waimai)、シェア自転車、ドローン宅配などいろいろなサービスが使える。
- didi(WeChat/AlipayのミニアプリでOK):Uberのような配車アプリ
- Taobao・JD(京东):通販
- [Pony.ai](#)(自動運転タクシー):WeChat/Alipayのミニアプリでたぶん大丈夫

ホテル情報

基本的には各自でとってもらいますが、おすすめなどは随時シェアします。

- 全般的に、深センのホテルは安めで、5000円くらいで東横インぐらいのレベルのところは多い。滞在が長い場合は洗濯機があるところを選ぶのがよい。また、「サービスアパート」と呼ばれる、普通のアパート(マンション)の部屋をホテル的に貸している所も多い(チェックインはホテルと同様が多い。一般的に部屋にキッチンや洗濯機などの設備が充実しているところが多い)
- 大まかな土地勘(深センの地下鉄路線図(2023年のもの)と主な訪問先)
https://drive.google.com/file/d/1qWkQoxHUoJNYxR_SnW3dFgo10m9eLMNo
 - 比較的深セン市の東半分(左側)での活動が多くなりますが、地下鉄1号線沿線 & 電気街付近が、なにかと便利なので、「HuaQiangLoad」駅か「科学館」駅のあたりを強くおすすめ。
 - 「まちのり」みたいなシェアサイクルがめっちゃめっちゃたくさんある(しかも安い)ので、多少駅から遠くてもシェアサイクル使う前提で場所を考えてもいい。
 - 長期間の滞在なので、まずは最初の1週間くらい予約して、気に入ったら延長、気に入らなかったら次を探す、のもアリ
- ホテル検索サイト(例)
 - Booking.com <https://www.booking.com/>
 - Trip.com <https://jp.trip.com/>
- ホテルの例(過去に秋田や学生が泊まったことがあるところ。当時の情報も)
 - LIA: 静か。ちょっと狭い。洗濯機あり。
<https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelId=77117781>
 - 优铂潮Youyi Chao: 洗濯機あり(1台)
<https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelId=117565111>
 - 希岸酒店 <https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelId=6483350>
 - 城市精品酒店(深圳西丽地铁站店)
<https://hotels.ctrip.com/detail/?hotelId=22604002>
 - 趣创(MakerHotel): 屋上に洗濯機あり。電気街のめの前。
<https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelId=6398678>
 - 商旅(TourismTrend): 近所が繁華街で夜中までうるさい。電気街の近く。洗濯機あり。 <https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelId=452674>

- 金之美: 格安。洗濯機なし。電気街近く。
<https://www.trip.com/w/BHlzlAQYCR2>
- 卓生: サービスアパート、部屋洗濯機あり。
<https://jp.trip.com/hotels/w/detail/?hotelid=124217930>
- SOVIS海和: 静か。ちょっと狭い。洗濯機あり。
<https://m.ctrip.com/webapp/hotels/detail?hotelid=85460584>
- CityInn <https://jp.trip.com/hotels/detail/?hotelid=668085>
- 学府酒店: 洗濯機あり。
<https://jp.trip.com/m/hotels/w/detail/?hotelid=1598538>
- T酒店: サービスアパート。ベランダ洗濯機。
<https://m.ctrip.com/webapp/hotels/xtaro/detail?hotelid=12135231>
- 八号连锁: 洗濯機あり。
<https://m.ctrip.com/webapp/hotels/detail?hotelid=926112>
- HomeInn: 洗濯機なし <https://www.trip.com/hotels/detail/?hotelid=1598541>
- 桔吉酒店: サービスアパート。部屋に洗濯機あり。
<https://www.trip.com/hotels/detail/?hotelid=114217408>
- JoyLai <https://www.trip.com/hotels/detail/?hotelid=2160329>

香港のホテルの情報

香港のホテルは割と高めで、(1)2万円くらいだと普通のホテル、(1)1万円以下だとチェックインの方法に注意: 指定された場所に行くと「ここに電話しろ」と書いてあるので、電話する(日本からの海外通話となってもしょうがない)。英語で、名前と「I want to check in」ぐらいで十分。WeChatやSMS、予約サイトから連絡を取れる場合もある)→しばらくすると鍵を持ってきてくれて部屋に案内され、チェックイン完了。

香港空港→深圳の移動(乗合タクシーSkylimo)

香港空港から深センへの移動は、乗合タクシーSkylimoが便利。



飛行機を降りたら、Immigration(入国審査)へ。到着ターミナルによっては途中シャトル電車に乗る。空港には無料WiFiがある。

そのままImmigrationに並び、入国審査。特に聞かれることはないはず。紙をもらうので、なくさないように注意。

その後、荷物を受け取り、税関(海關)申告を通る(申告するものはないはずなので、そのまま通る)。両替所があるので、心配ならば香港ドルを持っていない場合は両替しておく(200HKDぐらいで十分)。乗合タクシーSkylimoに乗ってから一時間くらいかかるので、食事やトイレは済ませておく。



空港ロビーを“Mainland Transport”(内地＝中国本土)に向かって進む。その先に端に、旅行社カウンター(※2025年に新ターミナルができて場所が変わっているかも)があって、客引きされるので、どこでもいいので並ぶ。どこへ行くか聞かれる(たぶん日本語で聞かれる)ので「深セン湾」(深圳湾 shen1zhen4wan1) or 「ふあんがん(皇崗huanggang)」と言ってチケット購入。150HKDぐらいのはず。支払いにはクレジットカードでもいける。



行き先が書いたシールを貼られ(※この写真は皇崗のもの)、チケットと中国入国カードをもらう。余裕があれば入国カードを記入する。人数が揃ったら案内されるので、待つ。



案内されるまま少し歩いて、駐車場内の乗り場へ。チケットをスキャンされたあと、行き先別に呼ばれるまで待つ。

8人乗りのアルファードぐらいの車に乗って出発。高速道路を40分ほどぶっ飛ばす。

- 中国入国カードの表面: Visa Noは空欄(ない場合)、またはVISA番号(ある場合)、電話番号は「+81」のあとに日本の携帯番号。その他も自分の内容を書く。「中文姓名」の欄は空欄のままにする。Purpose of tripはVisiting BusinessかTourismでいいはず。
- 中国入国カードの裏面。1=帰国便(まだとってなければ空欄)、2=現地連絡先(空欄でもよいはずだが、現地の受け入れ人がいる場合はその人の名前と電話番号)。3=過去2年間で行ったことがある国があれば書く、なければNone。香港と台湾は含めない。最後はサイン。

到着直前に、車に乗ったまま香港出国審査がある。運転手からパスポートを渡すように言われるので、渡す。窓を開けて審査官がパスポートをチェックするので待つ。しばらくしたらパスポートが返却されて出発。



深圳への入り口(Checkpoint: 口岸)に着くので、口岸の建物へ(※この写真は皇崗口岸のもの)。

続いて入国審査(指紋採取もあるが、特に聞かれることはないはず)。

最後に税関申告(海关)で、荷物を検査器を通し、申告するものがないのでその荷物を受け取って、そのまま通る。

お疲れさまでした、これで深圳に到着です。来了就是深圳人！(来たらあなたも深圳人)

お迎えの人と合流や、地下鉄やタクシーなどで移動してください。(※白タクの勧誘が多いので注意。

ぜったい乗ってはいけません)

(参考)ビザ申請の必要書類

※2025年度はビザ申請は不要

以下の1～10.(のうち必要なもの)を申請代行業者へ送付する(5.6.7.8.はみなさん該当しないので不要のはず)。送付したら、「パスポート返送先(住所)」と「運送業者と伝票番号」を教えてください(郵便局のレターパックライトや、ヤマト運輸の宅急便コンパクトなど)

3.の旧パスポートのほうは手元にない場合はなるはやで実家などに依頼してください。(※いったん実家から手元に送ってもらって、ほかのものとあわせて申請代行業者へ送付、が間に合わない場合は、実家から直接、申請代行業者へレターパックライトや宅急便コンパクト等で送り、運送業者と伝票番号を教えてください)

1. 顔写真1枚(以前オンライン申請時の写真データを規格にそったサイズで印画紙に印刷したものでOK)
2. 現在のパスポート原本
3. 旧パスポート原本(※)
(※)現パスポートの発行年月日が2017年12月31日以前の人には提出不要。2018年以降発行で旧パスポートを提出できない方(紛失、返納等で)は理由書の提出が必要
4. 現在と旧パスポートの各顔写真ページのコピー(写真をとって印刷でOK:原寸で)
5. (直近の中国ビザのページのコピー(取得歴があれば))
6. (直近の中国出入国スタンプのページのコピー(取得歴があれば))
7. (直近の居留許可証のページのコピー(取得歴があれば))
8. (中国以外の国で、一番直近の国のビザのページのコピー(取得歴があれば))
9. 申請書
個別にDMする申請書を印刷して、1枚目と項目9.1Aの申請人署名欄に漢字フルネームで、黒色のペンで申請者のサイン(消えるボールペンは不可)。年月日はサインした日。
(その他訂正箇所がある場合は、二重線を引いて正確な情報を記入後、横にサイン)
10. 招聘状(カラーで印刷)

あわせてビザ発給後のパスポート送付先を伝える必要がある。